

銀 賞

## ブレーキドラム脱着 SST

[宮城県支部] トヨタL&F宮城株式会社  
本部サービス部 齋藤 均

### 【考案の動機】

3t以上のフォークリフトでブレーキドラム脱着時、手で抱えて脱着していた為、手を滑らせてブレーキドラムを落下させ指を挟む、腰を痛めるなどのヒヤリハットが発生していました。

点検整備作業時に、このような災害を無くす事を目的として、なるべく単純な構造で費用を掛けずに出来るSSTを考案作製しました。

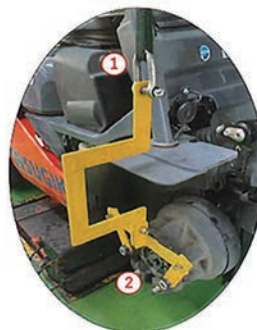
### 【考案の内容】

鋼材でブレーキドラム脱着SSTを製作した。



① スリングベルトとUシャックルでSSTを天井クレーンにセットする。

② 前輪を取外し、SSTをブレーキドラムにクリップナットでセットする。



③ スリングベルトに軽くテンションが掛かるようクレーンを上昇させる。

④ SSTの下側を両手で持ち、手前に引き抜く。

\*クレーンで高さの微調整をすること。



⑤ ブレーキドラムがホーシングから完全に外れたらクレーン操作にてドラム置き台車まで移動する。



### 【考案の効果】

重たいブレーキドラムを手で持たずに脱着出来、クレーンで吊り上げたまま取外したブレーキドラムを置場まで移動させる為、安全作業及び腰痛予防が可能となった。